

Asian District Cultural AssociationとGreater
Oklahoma City Asian Chamber of Commerceとの提
携により、HardingFineArtsAcademyは伝統の現代
的表現を紹介します。



伝統を現 代に表現

2024年4月26日（金曜日）



学長からのメッセージ

親愛なる卒業生、寄付者、そして友人の皆様：

Harding Fine Arts Academyは単なる学校以上のものです！

それは学生が芸術統合と体験学習を活用し、アートの中で情熱と技術を磨きながら、すべての学術科目で繁栄する場所です。

私たちの目標は、Ignite Master Artist Seriesのようなプログラムを通じて、自由で高品質なエンターテイメントや公共芸術教育の信頼できる情報源になることです。

このシリーズの目的は、私たちの学生に豊かで変革的な学習機会を育み、無料のコミュニティコンサートを通じて観客を鼓舞することです。

今夜のコンサートに加えて、私たちの学生は異なるアジア系アメリカ人アーティストと協力する独占的な機会を持ちました。歴史の学生はジャパン・アメリカ・ソサエティ・オブ・オクラホマと共に書道について学びました。彼らの作品はオーディトリウムの外廊下に展示されています。私たちのダンスの生徒はチャン・レーと一緒にKPOP（韓国のヒップホップ）マスタークラスに参加しました。そして、私たちのオーケストラの生徒は、芸術としての作曲とキャリアオプションについて学ぶために周龍博士とセミナーに出席しました。

このシリーズは、このプログラムに含まれるスポンサーの寛大な支援なしには実現しないでしょう。私たちの取り組みを支援していただける場合は、Harding Fine Arts Academy Foundationのエグゼクティブディレクター、Shannon Mckenrick-Okouにお問い合わせください。

今夜はここにいていただきありがとうございます。皆様を私たちの美しい歴史ある学校へ歓迎できることを大変嬉しく思います。

芸術の中で、

テイラー・C・スタントン

学長

Harding Fine Arts Academy



Harding Fine Arts AcademyはIgnite Master Artist Seriesを紹介します。

伝統の現代的表現

Zhou Long博士、作曲家

Katrin Stamatis、ヴァイオリン

Amy I-Lin Cheng、ピアノ

Jonathan Ruck、チェロ

Andrew Ranson、テノール/語り手

Hung Viet Dragon&ライオンダンス協会

Harding Fine Arts Academyオーデトリウム | 2024年4月26日 (金曜日)

プレショー

Zhou Long博士、ジャパン・アメリカ・ソサエティ・オブ・オクラホマ、Hung Viet Dragon
&ライオンダンス協会とのアーティストトーク

第I部

中国民謡のセット*

編曲: Zhou Long

ヴァイオリンのため

- i. 蘭花花 (陝北)
- ii. 駱駝隊の走り (陝西)
- iii. 流れる川 (雲南)
- iv. ジャスミンの花 (江蘇)
- v. 馬の牧歌 (雲南)
- vi. いつ梓が咲くか (四川)
- vii. 一本の竹は易く曲がる (湖南)
- viii. 家を出る (山西)

ピアノベルズ

Zhou Long

ピアノのため

草野

Zhou Long (1993年)

チェロのため

中国語による詩の朗読付き

Lu Hsen (1881-1936)

インターミッション (10分)

第II部

ハング・ヴィエト・ドラゴン&ライオンダンス協会による龍とライオンの舞踊デモンストレーション。

*ショーノートは次のページにあります

シヨーンोट

Zhou Long のシヨーンोट

Wild Grass, Foreward

Lu Hsun (1881-1936) による

今夜朗読されるのは、現代中国文学の父である呂遜（1881-1936）による詩『草野』の前書きです。呂遜は多作な作家であり、また偉大な革命家でもあり思想家でもあります。この前書きは1927年4月26日に広州の白雲閣で書かれました。1931年に馮毓生によって英訳されました。

“私が黙っているとき、私は満ち足りていると感じる。口を開いて話すとき、私は空虚さを感じる。

過去の生は死んだ。私はその死に歓喜する。それが一度存在したことを知るからだ。死んだ生は朽ち果てた。私はその朽ち果てることに歓喜する。それが空でなかったことを知るからだ。

地上に放棄された生命の粘土からは高い木は生えず、ただ野草が生える。そのことは私の責任だ。

野草は深い根を生やさず、美しい花や葉を持たないが、露、水、死者の血肉を吸収する。誰もがその生命を奪おうとするが、それが生きている限り、踏みつけられ、刈り取られる。そして死んで朽ち果てる。

しかし私は心配していない。私は喜んでいる。私は大声で笑い、歌うだろう。

私は野草を愛しているが、野草を身に着ける地面は嫌いだ。

地下火が広がり、地下で燃え広がっている。溶岩が地表を突き破ると、すべての野草と高い木を焼き尽くし、朽ち果てるだろう。

しかし私は心配していない。私は喜んでいる。私は大声で笑い、歌うだろう。

天と地は穏やかすぎて、私は大声で笑ったり歌ったりできない。たとえそうでなくても、たぶんできないだろう。光と闇、生と死、過去と未来の間で、私はこの野草の叢を友人や敵、人間や獣、私が愛する者や愛さない者への誓いとして捧げる。

自分のため、友人や敵、人間や獣、私が愛する者や愛さない者のために、私はこの野草の速い死と朽ち果てを願う。そうでなければ、私は生きていないことになり、それは本当に死と朽ち果てよりも悲しいことだろう。

さあ、野草よ、私の前書きと共に行け！”

中国民謡のセット

1) Lan Hua Hua (Shaanbei) : 裕福な家族への強制結婚から逃れるために恋人と共に逃げる田舎の少女の物語。

2) Muleチームを推進する (Shaanxi) : 駱駝隊が通り過ぎる中、若者は彼の恋人がいるかどうかを見ようとします。

3) 流れる川 (Yunnan) : 上に月があり、下に流れる水があるのを見ると、若い女の子は恋人のことを考えます。月が昇って輝いています、私の恋人は深い山の中にいます、彼は空を歩く月のようです。私の恋人よ! 山の周りを流れる川は透明です。丘の上に月が輝いています。月を見て恋人を思い出し、そよ風が丘の上を掃いています。私の恋人よ! 私の泣き声が聞こえますか?

4) ジャスミンの花 (Jiangsu) : ジャスミンの花、とても美しい花、彼女の甘い香りは庭の他のすべてを覆います。私は彼女を摘み取りたいのですが、庭の管理人を恐れています。ジャスミンの花、とても美しい花、彼女は咲くときに雪のように白いです。私は彼女を摘み取りたいのですが、噂を恐れています。ジャスミンの花、とても美しい花、彼女の美しさは庭の他のすべてを打ち負かします。私は彼女を摘み取りたいのですが、来年はつぼみがでないのではないかと心配しています。

5) 馬の牧歌 (Yunnan) : 民謡は日常生活のありふれた出来事についてのものがよくあります。馬の番人が、馬が草を食べ、朝露と出会って成長することが必要だと歌います。

6) いつ梓が咲くか (Sichuan) : 若い女の子が梓の木の下で恋人を待ちます。母親に「何をしているのか」と尋ねられると、恥ずかしさを感じて「梓の花が咲くのを待っている」と答えます。

7) 一本の竹は易く曲がる (Hunan) : 曲は典型的な湖南民謡のスタイルで作曲されています。歌詞は団結は力であることを暗示しています。

8) 家を出る (Shanxi) : 西へ生計を求めて旅立つ夫に別れを告げる妻の物語。

Dr. Zhou Long

作曲家

周龍博士は、東洋と西洋の美学的概念と音楽要素を融合させた独自の音楽作品を創造することで国際的に認められています。彼の最初のオペラ『マダム・ホワイト・スネーク』で2011年のピューリッツァー賞を受賞したほか、アメリカ芸術文学アカデミー賞、リンカーン・センター室内楽協会からの2012-2013年のエリーズ・ストーガー賞を受賞しています。また、クーセ



ビツキー財団、フロム音楽基金、MeettheComposer、チェンバー・ミュージック・アメリカ、ニューヨーク州芸術評議会からの委嘱を2度受けています。国立芸術基金、グッゲンハイム財団、ロックフェラー財団、ニューヨーク芸術基金からのフェローシップも受賞しています。2015年には、周龍博士とチェン・イーは共に第58回グラミー賞にノミネートされました。

1953年7月8日に北京で生まれた周龍は、1977年に北京の中央音楽学院に入学しました。1983年に卒業後、中国放送交響楽団の作曲家として任命されました。1985年に米国に留学し、コロンビア大学でチョウ・ウェンチョン、ダビドフスキー、エドワーズらに師事し、1993年に音楽芸術博士号を取得しました。現在、周龍博士はミズーリ大学カンザスシティ校音楽院のボンフィルス著名研究教授として活動しています。周龍博士の様々なジャンルの音楽は、オックスフォード大学出版局や上海音楽出版社によって広く演奏され、録音され、出版されています。

最近、彼はスタンフォード大学とバードカレッジの共同委託による声楽、合唱、オーケストラのための交響的オラトリオ『鉄人と黄金の杭』（約50分）を完成させ、2019年にカーネギーホールで初演されました。上海交響楽団の委託による管弦楽のための『山海経』、ケルンWDR交響楽団の委託によるチェロとオーケストラのための『酔っ払い詩人』、2019年ドレスデン音楽祭とシンガポール交響楽団で初演された、青島序曲、中国国家芸術基金によって受賞された『北京韻律-交響組曲』、北京交響楽団の委託による四重奏曲、ウィグモアホールとリンカーンセンターに共同委託された最初のピアノ協奏曲『ポスチャ』、BBCプロムスとシンガポール交響楽団に共同委託された。2013年に、周龍は北京音楽祭の委託により、広州交響楽団で初演さ

れた四人のソロボーカリストとオーケストラのための詩人屈原に捧げられた夜の長編交響詩『九章』を作曲しました。周龍のオペラ『マダム・ホワイト・スネーク』は、2022年にパリのオペラ・コミック、北京音楽祭、サンフランシスコ・オペラによって新たな舞台で共同制作されます。

Katrin Stamatis

バイオリニスト

バイオリニストのカトリン・スタマティスは、演奏、研究、教育など、活発な音楽活動を維持しています。フランスのフォンテーヌブロー、イタリアのヴェネツィア、ドイツのライプツィヒ、プエルトリコ全土など、世界中で演奏活動を行ってきました。また、出身地のニューヨーク市でも、ワイル・リサイタルホール、天理学院、芸術とデザイン博物館、セント・ジョン大聖堂などの会場で幅広く演奏しています。



カトリンは、オールバニ交響楽団、バーモント交響楽団、チェルシー交響楽団などで演奏し、チェルシー交響楽団ではブラームスのダブル協奏曲のソリストとしても活躍しました。過去10年間、カトリンはオクラホマシティ・フィルハーモニックの副第二ヴァイオリン奏者を務めています。

教育にも熱心であり、カトリンはニューヨーク市のカルフーン・スクールやラーチモント音楽アカデミーの教員を務め、2009年から2010年にはドレイク大学のバイオリンとヴィオラの客員教授も務めました。また、カリフォルニア州フレズノのフレズノオーケストラサマーアカデミーで教鞭を執り、カトリンはオクラホマ大学のサマーstringアカデミーの創設メンバーでもあります。現在は、オクラホマ州ノーマンにプライベートスタジオを構え、オクラホマシティでのブライトミュージック室内楽団と定期的に共演しています。

カトリンはバーナード大学（学士号）、マンネス音楽大学（修士号）、およびオクラホマ大学（音楽芸術博士号）から学位を取得しています。彼女は夫であるチェロ奏者のジョナサン・ラックと、2人の娘、アリアナとガリアと共にオクラホマ州ノーマンに住んでいます。

Amy I-Lin Cheng

ピアニスト

台湾出身のピアニスト、アミー・イ・リン・チェンは、アメリカと世界中のリサイタルや音楽祭に出演しています。アミーのライブパフォーマンスは、WGBH、KUCO、WHYY、ラジオスイス・ロンドンEspace2、およびNPRヒューストンで聴かれています。アミーはCentaur、Albany、CDBaby、Naxosでレコーディングを行っており、2015年にはアン・アーバーのヒル・オーディトリウムで北米初演を行ったVítězslava Kaprálováのピアノ協奏曲の最新リリースがあります。その他の協奏曲初演には、2017年にイスラエル系アメリカ人作曲家ダニエル・ラインによる単一楽章ピアノ協奏曲「Misirlouによる即興演奏」の米国初演があります。その他、2019年には台湾の作曲家チュンダ・ファンによる揚琴とピアノのためのダブル協奏曲の世界プレミアがあり、ミシガン大学アン・アーバー校で台湾国立中国楽団（NCO）との共演が行われました。また、フランスの作曲家フェルナンド・デクルックによる独奏ピアノ作品のレコーディングも行い、2022年秋にÉditions BillaudotのYouTubeチャンネルで公開されました。室内楽奏者として、アミーはオクホマシティのブライトミュージック室内楽シリーズの共同芸術監督兼ピアニストであり、Duo Clarion、Trio Solari、American Chamber Playersと共にツアーを行っています。



献身的な教師でもあるアミーの学生たちは、アメリカ国内外の地域、地域、全国的なコンクールで賞を受賞し、大学の教員ポジションを獲得しています。アミーはカーティス音楽院（学士号）、イェール大学音楽学校（修士号、アーティストディプロマ）、ニューイングランド音楽院（音楽芸術博士号）の卒業生です。アミーはミシガン大学音楽、演劇&ダンス学校でピアノとピアノ室内楽の助教授を務めており、ミシガン州アン・アーバーに家族と2匹のペットと一緒に住んでいます。彼女は2024年6月17日から22日にオクラホマシティで行われるブライトミュージックサマーフェスティバルの演出と演奏を担当し、7月14日から27日までノーマンで開催されるOUサマーストリングアカデミーの教員を務める予定です。

Jonathan Ruck

チェリスト



アメリカのチェリスト、Jonathan Ruckは、ソリスト、室内楽奏者、オーケストラ奏者、教育者として多才なキャリアを維持しています。彼の「技巧的な指揮」と「豊かな音色」が称賛され、北米、ヨーロッパ、オーストラリア、カリブ海全域で演奏しています。最近では、オレゴン・バッハ・フェスティバル、サニベル・アイランド・フェスティバル、OKモーツァルト、アンルーリー・ミュージックなどのフェスティバルに出演しています。また、プエルトリコ国際室内楽オーケストラの首席チェリストとしても活動しています。ジョナサンは現在、オクラホマシティフィルハーモニーの首席チェリストを務めています。

情熱的な室内楽家であるジョナサン・ラックは、オクラホマシティの居住型室内楽アンサンブルであるブライトミュージックの主要メンバーです。彼はアメリカンチェンバープレイヤーズやペンデレツキ弦楽四重奏団としての客演チェリストとして活動し、クリストファー・テオフィアニスやシドニー・コーベットによる室内楽作品の最近のワールドプレミア演奏も行っています。ダビンスキー弦楽四重奏団の創設メンバーとして、ジョナサンはフィッシュオフとコールマンの全国室内楽コンクールで受賞者となりました。

ジョナサン・ラックは2006年にオクラホマ大学音楽学校の教員に加わりました。それ以前の任務には、インディアナ大学ジェイコブス音楽学校のヤーノシュ・スターカーとツツミ・ツヨシの両名の助手を務めたこと、およびデポー大学音楽学校での客員教授を含みます。夏期には、カリフォルニア州フレズノのサマーオーケストラとオペラアカデミー (FOOSA)、南フランスのゾディアックフェスティバル、インディアナ大学サマーストリングアカデミーなどで教鞭を執ることを楽しんでます。2018年には、彼はオクラホマ大学サマーストリングアカデミーを創設し、引き続きそのディレクターを務めています。ジョナサン・ラックのチェロスタジオの卒業生は、ジュリアード、インディアナ大学、イーストマン、オーバーリン、クリーブランド音楽院などの学校で学業を続けるために受け入れられ、世界中のアンサンブルや大学、プレカレッジの教員として活躍しています。

Jonathan Ruckは現在、オクラホマ州ノーマンに妻であるヴァイオリニストのKatrin Statmatisと2人の娘、アリアナとガリアとともに住んでいます。

Andrew Ranson

テノール、ナレーター

“Andrew Ransonの嘆きのようなテノールは...一種の堂々とした、気高い音色を持っている”と、タルサワールド（2005年6月）が述べています。コロラド州ガニソン出身のアンドリューは、地域やツアー公演で「魔笛」のタミーノ、コジ・ファン・トゥッテ」のフェランド、イル・レ・パストレのアレッサンドロ、ドン・パスクアーレのエルネスト、ミカドのナンキプー、セビリアの理髪師のアルマヴィーヴァ伯爵、シンデレラの王子ドン・ラミーロ、カプレティ家とモンテキ家のジュリエットのテバルド、そして「Too Many Sopranos」のネルソン・デッドリーなどの役を演じています。彼はOpera Aperta、Boston Bel Canto Opera、Opera Colorado、Pine Mountain Music Festival、San Diego Operaなどと共演しています。ランソン氏はAmato Opera、Bronx Opera、Light Opera Oklahoma (LOOK)、Opera Colorado Education Tour、Dicapo Opera Theater Young Artists、New York Chamber Opera、San Diego Opera Education Tour、Teatro Corleone、およびTroupers Light Operaとしても主要なアーティストとして出演しています。



オラトリオのソリストやコンサートアーティストとして、彼はJ.S.バッハのマニフィカートや数多くのカンタータ、ベートーヴェンのコラールファンタジーとC大調ミサ、ヘンデルのメサイアや“Sing Unto God”、ハイドンのミサ・セレンシスと“Lord Nelson Mass”、デュボワの“The Seven Last Words of Christ”、モンテヴェルディのヴェスペレ、モーツァルトのレクイエムなどを歌ってきました。また、ベンジャミン・ブリテンの“Saint Nicolas”の主演も演じました。オクラホマシティでは、カンタベリー合唱協会やブライトミュージック室内楽アンサンブルとしてソリストとして出演し、定期的にTACTUSと共演しています。

ブライトミュージック室内楽アンサンブル

ブライトミュージックは、オクラホマシティの主要な室内楽アンサンブルであり、リラックスした家族向けの雰囲気の中で優れた小規模アンサンブルのクラシック音楽を披露しています。ブライトミュージック・ソサエティ・オブ・オクラホマは、

2003年以来、オクラホマシティの観客にエキサイティング



な室内楽のパフォーマンスをもたらしています。芸術監督のチャド・バロー（クラリネット）とアミー・イ・リン・チェン（ピアノ）は、才能ある音楽家のアンサンブルを率いて、定期的なシーズンコンサート5回と6月に複数のコンサートを開催する夏の室内楽フェスティバルを指揮しています。

ハング・ヴィエト・ドラゴン・アンド・ライオン・ダンス協会

ハング・ヴィエト・ドラゴン・アンド・ライオン・ダンス協会は2018年12月20日に設立されました。彼らはオクラホマシティ、オクラホマ州を拠点とする著名なライオンダンスグループとして活動しています。彼らの主な目標は、活気あるライオンダンスの祭りを通じて、地元のオクラホマコミュニティ内でベトナムの伝統と文化を効果的に促進し、普及させることです。



アジアン地区文化協会

アジアン地区文化協会の使命は、オクラホマシティのアジアン地区の多様な文化を促進し、保存することです。彼らは、次世代のアジア系アメリカ人オクラホマ人を巻き込み、力を与えることで、世代間でコミュニティを構築し、結びつけます。彼らはイベント、美化、教育とアウトリーチを通じて使命を達成します。オクラホマシティのアジアン地区は、クラッセン・ブルーバードと北西23rdストリートから北西30thストリートまでの間に位置しています。南側には歴史的なゴールドドーム、西側にはオクラホマシティ大学、東側にはパセオアーツ地区があり、アジアン地区は市の中心部に位置しています。



Asian District
Cultural Association

グレーターオクラホマシティアジア商工会議所

2022年に設立されました。この団体は急速に成長するアジア系ビジネスコミュニティのための支援と提唱を行うために創設されました。彼らの理事会メンバーは、必要な人々にとってのリソースとなることを願っています。



追加のパートナー

今夜のコンサートの前に、ハーディング・ファイン・アーツ・アカデミーの生徒たちは、歴史の授業中に日米協会と共に書道に取り組む貴重な機会を得ました。また、KPOP（韓国のヒップホップ）のマスタークラスをChanh Le氏と共に受講しました。



日米協会オクラホマ

日米協会オクラホマは、1975年に創設された非営利団体で、日本とアメリカ合衆国のオクラホマ州での文化的、教育的、社会的関係を促進することを目的としています。

Chanh Le

Chanh Leはオクラホマシティで生まれ育ったベトナム系アメリカ人です。彼は環境プロジェクトマネージャー、コーヒーバリスタ、ダンサー、振付師であり、非営利団体であるRACE DanceCollectiveの理事長も務めています。彼はRACE DanceCollectiveのカンパニーダンサーとして3シーズン目を迎え、RACEのヒップホップナツクラッカーやDisorder、RACEyShowに出演しています。彼はRACEのヒップホップ



ナツクラッカーの振り付けも行い、定期的にRACE the SpaceでヒップホップやKPOPのクラスを教えています。

Chanhのダンスの旅は、兄がブレイクダンスを見ている早い記憶から始まり、いくつかのムーブを彼から学んだことに始まります。YouTubeの初期段階で成長した彼は、オンラインで振付師を見て模倣することでダンスを学び、アメリカのベスト・ダンス・クルーに登場したダンスクルーからインスピレーションを受けました。友達とダンスクルーを結成し、RACEでダンスをすることは夢でした。チャンは、自分のクラスを受けたり、自分が踊るのを見たりする人々が、自分自身の創造的な興味や情熱を追求するためのインスピレーションを感じてほしいと願っています。